

## 被爆 75 周年原水爆禁止世界大会 福島大会「議長挨拶」

原水禁議長の川野です。早いもので東日本大震災から、9 年余、ヒロシマ、ナガサキから 75 年経ちました。

しかし、福島では未だに 4 万余の人たちが避難生活を余儀なくされているとお聞きしています。

そして、今度はコロナ・・・、皆さんお変わりありませんか？

コロナのおかげでオリンピックも、5 年に一度の N P T 再検討会議も、そして原水禁大会もとんでしまいました。そのため、福島の皆さんに、直接ご挨拶できないことをお許してください。

さて、国や東電は責任を放棄し、被害者の方たちへの支援を打ち切ろうとしています。避難指示解除地域の居住率は、未だに 3 割にしかすぎず、期限ありきで必要な支援を打ち切ることは、到底許すことはできません。

また、東京電力の損害賠償も同様です。東京電力が被害者の物心両面にわたる請求に、誠意を持って対応することは当然のことです。

また、政府や東電は多くの県民の反対にも関わらず、汚染水の海洋・大気放出案を強行しようとしています。しかし、浪江町議会の海洋放出に反対する決議案が、全会一致で可決されたこと見ても、絶対に容認することはできません。

また、このことは、「ロンドン条約」にも違反しており、「我国は・・・海洋投棄はしない」とした原子力委員会の決定にも反します。

さて、我が国の原子力発電は現在 60 基で、そのうち稼働中は 9 基の原発にしか過ぎません。また、プルサーマル導入の原発は現在 4 基の原発にとどまっていますが、原発推進派は 16 ～ 18 基の原発でプルサーマルの導入を目指していると言われてています。

しかし、皆さん、世界の動向を見ても、各国はすでに原発そのものから脱却をはかっており、プルサーマルのようにウラン燃料と比

べてもはるかに割高で危険なM o x 燃料をわざわざ使う意味がどこにあるのでしょうか。世界の潮流を見ても、自然エネルギーへと転換しなければなりません。

世界の核兵器は1万3,410発、前年から470発減少しましたが、中国は30発増の320発となり、フランスを抜き、ロシア、アメリカに次ぎ3番目に多い国となりました。

確かに前年から減少したとは言え、地球上の人類を何十回殺しても有り余る数字であることには変わりありません。

しかも、近年、米国トランプ大統領は「中距離核戦力全廃条約」(INF)を失効させ、さらに「核体勢の見直し・・・使える核兵器の開発」を表明するなど、極めて危険な状況で、また、米口の核削減交渉の見通しもたっていません。

このような時だからこそ「世界で唯一の核被害国」我が国の出番があるはずです。

まず、核兵器禁止条約に賛同する。そして、韓国・北朝鮮・日本は核を持たない、米国・中国・ロシアはこの3国を核攻撃しない・北東アジア非核兵器地帯構想を実現させるのです。もう、米国の核の傘はいりません。非核兵器地帯構想を南半球と同じように北半球にも広げるのです。我が国がその先頭に立つことこそが重要なのです。

安倍政権の末期的症状が見えてきました。もり、かけ、桜、黒川、そして、河井夫妻の逮捕事件・・・我が国の民主主義が問われます。皆さん、政治の流れを変えましょう。平和憲法を守り、真の平和を取り戻しましょう。そして、核も戦争もない世界を作りましょう。頑張りましょう。